

同定会報有難うござります。私は

宮内大臣の娘で三十三回昭和九年九月

池上宮内大臣と同期九月にござります

字はよく書けません。悪筆より文を読

しります。又し振上り父の姿を見て懐しく感じ

と思ふが筆をとりました

父は昭和九年私の卒業と共に伊那を

去りました。一人間を勉強だ」と申し

引越とかその他家で何がござらうと全然

おかしな事なく自室で本のみ読んでいた。私

が「教員あて」としてと申しました。申し

のト云ふけりか」と思ふといふ事、物に病氣を
せざるハハ也云々を立ちりありしが、私が最期まで
見えありやうた、私の主人は支那宮で
三十数年に之とあり、私は今孫と二人で
何となくこの心ざりを言ひやう
定むる所指候事、ごめんとす。

おはよう

文澤林